

KASANEEO



KASANEEOは、2018年に発足し、宇治市を中心に活動を行っているプロジェクトです。「若者から高齢者、幅広い世代の人々が一緒になって自然に楽しめる場づくりが必要」と考え、立ち上げました。年代差の大きな壁があると、どうしても話のズレなどが生じてしまい、話しづらいと思ってしまうがちではないでしょうか？世代を超えた交流を発展させるには「共通の話題を探すこと」が必要だと考えました。

そこで、**私たちが提案する共通の話題は「ファッション」**です。

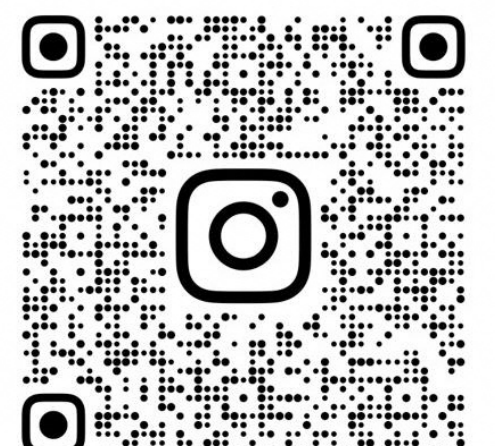
ファッションの流行は20年周期と言われます。それを共通の話題にすることで、高齢者と若者を繋ぐ架け橋になると考えました。ファッションを取り入れた活動は、高齢者から今は着ることはないが捨てられない衣服を、その服にまつわる思い出と共に譲り受けることから始まります。

私たちは**衣服を「物」ではなく「思い出」**として受け継いでいきます。

メールやDMを気軽に送ってください。
E-Mail : kasaneo.2018@gmail.com



【ホームページ】



@KASANEEO.2018



①交流雑誌 & スナップ撮影イベント

KASANEEOの活動を広める交流雑誌作成のために、スナップ撮影イベントを開催。モデルとカメラマンを事前に募集し、モデルに衣服の「思い出」を伝え、それを踏まえ私服とコーディネートをしてもらいます。このイベントで撮影した写真を使用し、交流雑誌を制作します。今年度は「宇治市源氏物語ミュージアム」と「お茶と宇治のまち交流館茶づな」で撮影を行い、今回は、学生だけでなくシニアメンバーがモデルとして参加しました。交流雑誌を制作する活動を通して、KASANEEOの活動内容について知ってもらうことができました。



②衣服譲り受け会 & ファッションショー

ファッションショーは、提供者様の思い出の衣服と学生の私服を組み合わせることで新しい思い出をつくることができます。

今年度は、初めて「衣服譲り受け会」を4回開催し、その際に提供して頂いた衣服を用いてファッションショーを行いました。譲り受け会とファッションショーを連動させることで、提供者様にもショーを見ていただくことができ、また、観客の方も、身近な方の思い出の衣服を知っていただくことができます。これにより、より繋がりを深めることができましたと思います。



③KASANEEO FES

誰もが気軽に集える「居場所」を目的に、毎年開催しています。前年度に引き続き、アーバンデザインセンター宇治・中宇治BASEを会場で行いました。1階では交流雑誌Vol.6で掲載している思い出の衣服展示会やカフェブース、2階ではフリーマーケットを行いました。また、思い出の衣服を用いたファッションショーを行いました。そのため、地域の方々や観光客などこれまで関わりのなかった様々な人たちと交流を深めることができ、約100人の来場者数に達することができました。



④タイダイ染めワークショップ

タイダイ染めワークショップは、イベントに参加された方と共に「思い出を作る」ことが目的で始めました。今年度はイオンモール久御山にて無印良品との協働イベントを開催。無印良品のマイバックを使用し、参加者が好きなように縛って、染色を行い、100人の参加者と共に世界に一つだけの思い出を作ることができました。この活動を始めたことにより、今まで関わる機会の少なかった、お子さんや30～40代の親御さん世代との交流が実現しました。

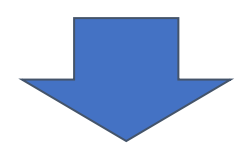


今後の課題

私たちは「自然な多世代交流の場づくり」を目的としており、学生自身は、今までより比較的多くイベント参加者と交流することができました。しかし、イベント参加者同士の交流という点においては、まだまだ深めていく必要があります。KASANEEOのイベントを通して、そこに集う方同士が、知合い、新たな交流が生まれる、そんな場づくりをしていく必要を感じています。そのため、今後の活動では、参加者同士が積極的に交流できるよう雰囲気をつくることに重点をおいて活動していきます。

「久御山町とつながる（リンクする）」という
意味を込めて名付けました。

久御山町役場、久御山町の各自治会などとの連携で、…



- ・自治会の活性化
- ・シニア世代のデジタル化の普及
- ・コロナウィルスの流行で縮小されていた活動の再開支援

イベントの実施を通して地域の方々と関わり、全世代が
いきいきと暮らせる町を目指して活動しています。

＜取り組み課題＞

①久御山町で強めるつながり

- ・久御山町が抱える課題の解決案を検討・提案
- ・新たな展開や連携先の拡大に取り組む
- ・イベントの際に意見ボックスを設置

②久御山町で広げるつながり

- ・KminK主催イベント「くみやまスマイルフェスティバル」をきっかけとして、
- ・地域の様々なお店と連携を図る。
- ・地域イベントへのブースの企画・運営

③久御山町から届けるつながり

- ・2023年5月より久御山町産業大使として、
久御山町の魅力を町外へ発信する。
- ・SNSで地域団体と連携する。

＜成果＞

①久御山町で強めるつながり

今年度から始まった「のこのこ村」への定期訪問で、
子どもたちとの交流が増えた。

→別のイベント時に話しかけてもらい、定期訪問を
通しての繋がりを感じることができた。

②久御山町で広げるつながり

久御山町外のイベントで、久御山町内にあるお店と連携
し、委託販売を行うことができた。

→久御山町と間接的に関わるきっかけを創出すること
ができた。

③久御山町から届けるつながり

久御山町産業大使の活動で、Instagramにて町内から
町外へアプローチし、沢山の方に久御山町の魅力を知っ
て頂くことを目標に投稿を行った。そして、メンバー
自身も久御山町について知ることが出来た。

＜主な活動内容＞

●東佐山団地自治会との連携

- ・7月と9月に高齢者対象のスマホ教室を開催

●子どもの第三の居場所「のこのこ村」との連携

- ・月1回、定期訪問し、子どもたちと交流
- ・8月に季節イベントとして水鉄砲遊びを企画

●KminK主催「くみやまスマイルフェスティバル」

久御山高校と連携し、高校生・大学生によるステー
ジや出展を通して、地域の方々が交流できるイベント
を10月14日に開催

●栄1・2丁目自治会との連携

- ・10月にホワイト子供会主催の「ハロウィンイベン
ト」に参加
- ・11月に自治会主催の「マルシェ」に参加

●「ともいきフェスティバル」

11月に京都文教大学内のイベントにて久御山クイ
ズと委託販売を実施



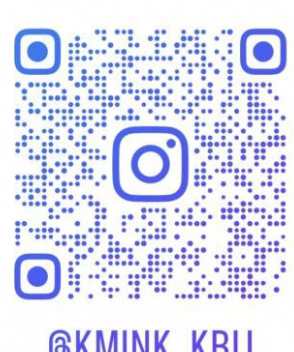
＜今後の課題＞

- ・イベント運営の際、役割分担に関する打ち合わせ不足が
あった。また、認識のばらつきにより、必要な行動が
曖昧になることがあった。メンバー内のスケジュールの
共有や、運営にあたって必要なことを明確化させるなど
の体制を強化していきたい。
今年度は、雨天時の対応や役割の明確化を行う。

- ・イベントに参加率が低く、運営補助などに必要な人数が
集まらないことがあり、任される運営補助の範囲が狭く
なっていた。
KminKメンバーのイベントへの参加率を上げ、次世代
への引継ぎ強化を行っていきたい。

＜取組を通して＞

- ・地域の方々との関わりが増えることでKminKという
団体名だけでなく、メンバー個人の名前も覚えて頂ける
ようになり、自分たちが活動に関わっているという
一体感が得られた。
- ・自分たちが実際にイベントを主催し、慣れないことが
多かったが、イベント運営の難しさや沢山の方々が
動いてくださっていることを身に染みて感じ、これから
も感謝の気持ちを忘れず活動していきたいと感じた。
- ・各自治会で困っている問題にアプローチして、
地域のつながりを身近に感じることが出来た



Instagram : kmink_kbu

メール : kmink@stu.kbu.ac.jp

アドバイザー教員：黒宮 一太先生

京都文教大学地域連携学生プロジェクト lemon tree

指導責任者：平尾和之教授 活動場所：宇治市

活動目的：認知症の方と多世代の交流を促進させてかつ認知症の理解を広めることを目的とする

お茶摘み



グループミーティング



当事者・学生・行政などの多視点での意見・考えの共有や交流。

わんさかフェスタ



2024年度lemon tree 年間活動

4月	新入生歓迎活動
5月	第1回グループミーティング、お茶摘み、萬福寺エンジョイフェスタ
6月	採択選考会、オープンキャンパス、第2回グループミーティング
7月	第3回グループミーティング、当事者との交流会(テニス)
8月	オープンキャンパス
9月	全国まちづくりカレッジin伊勢
10月	第4回グループミーティング、わんさかフェスタ
11月	第5回グループミーティング、ともフェス
1月	第6回グループミーティング
2月	第2回当事者との交流会(テニス)&お正月会
3月	第11回認知症フォーラム(講演やパネルディスカッション)

萬福寺エンジョイフェスタ



テニス会



今年度の成果

地域のイベントなどに参加し、多世代に認知症を知ってもらう機会を作ることができた

今後の課題

今後も認知症を広めることに重点を置きつつ、当事者の方との交流をより増やしていきたい

れもんちゃん



ご家族や当事者の方、地域の方とともに様々なことに挑戦されている、生き生きとした姿を見て社会の認知症に対するイメージと実際には齟齬があと感じました。



< 団体概要 >

私達、商店街活性化隊 しあわせ工房 CanVasは、2014年に結成された、「宇治橋通商店街振興組合公認」の学生プロジェクトです。

このプロジェクトは、宇治橋通り商店街と連携し、学生の視点から、商店街の魅力を他者に伝え、来客者を増やそうといった、橋渡しを担う目的のもと活動しています。

この団体は、3つの班（夏祭り班、わんさか班、ロゲイニング班）に分け、イベントごとに、各班工夫を施したブースの出店や、また商店街のお店へのインタビューを行なっています。

< メンバー >

4年生：0人

3年生：14人

2年生：5人

1年生：11人



< 活動内容 >

< 夏祭り班 >

- ・クラフトビール夜市
- ・ともいきフェスティバル
- ・商工会議所NEWS取材 など

< わんさか班 >

- ・わんさかフェスタ
- ・Spiral UP取材 など

< ロゲイニング班 >

- ・源氏物語ロゲイニング
- ・まちブラロゲイニング
- ・色別ロゲイニング など



< 活動場所の紹介 >

私たちが普段活動している「宇治橋通り商店街」はJR宇治駅から徒歩1～4分の場所に位置しており、京都駅や大阪中心部からの交通アクセスが非常に優れています！商店街の近くに平等院鳳凰堂があるため、日本人観光客や外国人観光客がたくさん商店街のお店に足を運んでいます。

宇治橋通り商店街にはたくさんの種類のお店が並んでいるため、お店目当てに訪れる観光客もいるくらい人気のある商店街です！宇治に来た際には訪れてみてください！



< 宇治橋通り商店街のイベント参画 >

○クラフトビール夜市（8月3日）

・宇治橋通り商店街で夜に行われる大人を対象としたイベントのため、子供たちでもこのイベントが楽しめることを目的としたブースを設置。実施内容として、魚釣りや短冊づくりを行い、200人の子供たちに満足していただけた。

・毎年子供連れを対象にしているため、親子で楽しめる企画を考案する。

○わんさかフェスタ（10月26日）

・大人が楽しめるブースが多かったのが子供も楽しめるために、企業様と協力してスタンプラリーや企業に関するクイズ制作などを行った。スタンプラリーは大人から子供まで幅広い年齢層の参加があり、268人の方に参加していただいた。

・外国人観光客が去年よりも多かったため、外国人でも参加できるように、多言語対応のスタンプカードの製作が課題として挙げられる。

・スタンプ台紙を配布しても、景品の交換に来る参加者が少なかったように感じたため、参加したいと思えるイベントに来年度以降はしていきたい。

< CanVas主催イベント >

○源氏物語ロゲイニング～歩む君へ～ （9月28日 10月19日 12月7日）

・大河ドラマ「光る君へ」で宇治に注目が集まる中で、源氏物語ロゲイニングを通して宇治橋通り商店街や宇治の魅力を発信し、更なる賑わいを創出することを目的とした。そのため、源氏物語にゆかりのある宇治のスポットをポイントとしたロゲイニングを実施。

・参加者にアンケートを取ったところ、9割の参加者の方に満足していただけた。

・毎回の定員に達することがなく、集客力が足りなかったことが今後の課題として挙げられる。

・大学生が企画したことによって、学生ならではの目線で宇治の魅力を発信が出来たと考える。また、学生との交流があるまち歩きイベントは、唯一無二であり高い満足度につなげることが出来たと感じた。